

平成19年度研究業績一覧

平成19年(2007年)4月1日～平成20年(2008年)3月31日

人間・心理学系

五十嵐 敦

- 【論文】** キャリア教育への取組みとその課題—
キャリア形成における発達と社会の視点
— 単著 月刊「進路指導」第81
巻第3号 2008.3
- 中高年の発達について 単著 日本
歯科医師会雑誌 第60巻第11号 2008.3
- 【調査報告】** 働く人々のメンタルヘルスに関わる要因
について 単著 産業保健情報誌
「さんぽ福島」第18号 2007.3
- これからの職場におけるメンタルヘルス
を考える 単著 産業保健情報誌
「さんぽ福島」第19号 2007.11
- 【学会発表】** 中学生の社会的行動についての研究
(44) 日本教育心理学会第49回総会
関文科大学 2007.9
- 大学卒業後のキャリア形成に関する研究
日本心理学会第71回大会 関東洋大学
2007.9
- 大学卒業者調査から見た就職に関する諸
要因の特徴 第29回キャリア教育学会
研究大会 関多摩美術大学 2007.10
- 働く人々のメンタルヘルスに関わる要因
について(3) 第15回日本産業ストレス
学会 関杏林大学 2007.12
- 中学生の社会的行動についての研究
(51) 第19回日本発達心理学会
関大阪国際会議場 2008.3

生島 浩

- 【著書】** 非行—彷徨する若者、生の再構築に向け
て 共著 ゆまに書房
- 社会のなかの刑事司法と犯罪者 共著
日本評論社
- 犯罪心理臨床 共編著 金剛出版
- 【論文】** 保護観察の技法 単著 更生保護
58巻4号 2007.4
- 非行臨床における家族支援 単著
更生保護 59巻2号 2008.2
- 更生保護における実践研究—説明責任と
しての課題— 単著 更生保護と犯
罪予防 149号 2008.2
- 【調査報告】** 平成18年度福島大学総合教育研究セン

ター附属臨床心理・教育相談室活動報告
中野明德・青木真理・水野薫・渡辺隆
福島大学心理臨床研究 2号 2007.7

総合教育研究センター「教育実践研修講
座」2006年度活動報告 中野明德・青
木真理・水野薫・渡辺隆・鈴木庸裕・宮
前貢 福島大学総合教育研究センター
紀要 4号 2008.1

【学会発表】 犯罪心理臨床の説明責任 単独 日
本犯罪心理学会第45回大会 関福島
2007.9

困難な問題行動への対応 単独 日
本生徒指導学会第8回大会 関東京
2007.11

【書評】 廣井亮一著「司法臨床の方法」 精神
療法 33巻5号 2007.10

石川義博著「少年非行の矯正と治療」
家族療法研究 24巻2号 2007.8

板橋 孝幸

【著書】 『勤労青少年教育の終焉—学校教育と社
会教育の狭間で—』 共著 随想舎

『近代日本教育会史研究』 共著
学術出版会

『地域に根ざした学校づくりの源流—滋
賀県島小学校の郷土教育—』 共著
文理閣

【論文】 「福島大学における『授業アンケート』
の現状と課題—主要国立大学との比較を
通して—」 『福島大学総合教育研究
センター紀要』 第3号 2007.7

「東北大学工学部のポートフォリオによ
る『学習の成果』検証取組みの成果と課
題—『学習等到達度記録簿』に関する学
生・教員対象アンケート実施結果報告
—」 関内隆、宇野忍、葛生政則、北
原良夫 『東北大学高等教育開発推進
センター紀要』 第3号 2008.3

【調査報告】 「戦前における教員住宅と『部落分
住』」 『日本教育史往来』168号 第
168号 2007.6

『渋谷忠男教育実践資料集』 白井嘉
一、二谷貞夫、田中武雄、木全清博、斉
藤利彦、和井田清司、梅野正信、木村博
一、武藤拓也、石井建夫 「戦後日本
における教育実践の展開過程に関する総
合的調査研究」2007年度科学研究費補助

金(基盤研究B)研究成果報告書(研究代表者:臼井嘉一) 第1集 2008.3

【学会発表】 「戦後日本の教育実践(1)―戦後日本における実践理論の形成と展開―」
日本教育学会 関慶應義塾大学 2007.8

「戦後日本の教育実践(2)―地域教育実践の事例的研究(上越地域・奥丹後地域を中心に)―」 共同発表 日本教育学会 関慶應義塾大学 2007.8

「大正・昭和戦前期農村郷土教育におけるカリキュラム改造と村内教育体制の構想」 日本社会科教育学会 関埼玉大学 2007.10

大宮 勇雄

【論 文】 レッジョエミアやニュージーランドの保育者には「子ども」がどのように見えているのだろうか 現代と保育 69号 2007.11

「発達の連続性」は保育の質を高めるか?―幼稚園教育要領・保育所保育指針改定案の批判的検討(上) 保育情報 no.375 2008.2

ニュージーランドでは「幼小接続」がどのように議論されたか―幼稚園教育要領・保育所保育指針改定案の批判的検討(下) 保育情報 no.376 2008.3

保育者の技量や持ち味を生かすか殺すか、それが「自己評価」の問題だ 現代と保育 70号 2008.3

角間 陽子

【調査報告】 青年と高齢者をつなぐ世代間交流―ライフ・ストーリー・インタビューを中心に― 単著 世代間交流 Intergenerational Interchange 第2号 2007.12

世代間交流によるエイジング学習を導入した家庭科教育プログラムの開発研究 単著 平成18年度～平成19年度科学研究費補助金若手研究(B)研究成果報告書 2008.3

【学会発表】 複合施設における世代間交流の現状と課題 日本家政学会第59回大会 関岐阜 2007.5

中学生のコミュニケーション能力形成における世代間交流の影響 日本家政学会第59回大会 関岐阜 2007.5

家庭科教育における世代間交流とエイジング学習に関する研究 日本家庭科教育学会第50回大会 関東京 2007.6

世代間交流活動に対する家庭科教育の学習効果の検討 日本家庭科教育学会

2007年度例会 関東京 2007.12

木暮 照正

【論 文】 地方国立大学における公開講座の在り方～「公開講座・公開授業アンケート」を振り返って～ 福島大学生涯学習教育研究センター年報 第13巻 2008.3

【学会発表】 社会的できごとの生起時期推定における加齢差 日本認知心理学会(第5回大会) 関京都大学 2007.5

地域住民を対象にした高齢者の調査研究の実際～社会的できごとの記憶評価を中心に～ 日本心理学会(第71回大会) 関東洋大学 2007.9

時間評価における加齢差―注意機能との関連性から― 日本心理学会(第71回大会) 関東洋大学 2007.9

白石 昌子

【論 文】 身体運動を伴う幼児の音楽表現をみる目線 季刊音楽文化の創造 cmc No.46 2007

【調査報告】 「福島県における子育て支援建ち・子育て支援に関する調査研究」報告書 原野明子・音山若穂・郭小蘭・鈴木祥子 福島県社会福祉協議会 2008.3

鈴木 庸裕

【著 書】 テキスト特別ニーズ教育 共著 ミネルヴァ書房

スクールソーシャルワークの可能性 共著 ミネルヴァ書房

スクールソーシャルワーク論 共著 学苑社

【論 文】 スクールソーシャルワーカーの人材養成 『学校ソーシャルワーク研究』(日本学校ソーシャルワーク学会編) 第2号 2007.8

子どもの人権擁護を担う地域のコーディネーター 『生活指導研究』(日本生活指導学会編) エイデル出版 第24号 2007.10

福島県における地域福祉充実のための活動推進に関する調査報告 共著 『福島大学地域創造』 19-1 2007.9

地域における子育て支援・児童虐待防止に関する調査研究 共著 『福島大学総合教育研究センター紀要』 4号 2008.1

教師のための学校ソーシャルワーク 単著 『福島大学総合教育研究センター紀要』 4号 2008.1

- 【学会発表】 北米における人材養成 第2回日本学校ソーシャルワーク学会 関大阪市内
2007.7

対人援助職の専門性をいかに養成するか
第25回日本生活指導学会 関北海道大学
2007.9

千葉 桂子

- 【論文】 大学生の被服製作実習における導入段階のグループ製作について 東北家庭科教育研究 第6号
2007.6

知的障害児の衣生活支援を試みて—衣服の選択と自己決定— 繊維製品消費科学会誌 48巻12号
2007.12

- 【学会発表】 上肢動作に不自由がある場合の装身具の装着動作について 発表者名：千葉桂子, 菅野悦子 日本家政学会第59回大会 関長良川国際会議場
2007.5

知的障害児のカラー・コーディネートに関する支援の試み—衣服選択における自己決定— 日本繊維製品消費科学2007年次大会 関大妻女子大学
2007.6

鶴巻 正子

- 【論文】 TEC (The Education Cooperative) における特殊教育プログラム 右高真由美 福島大学総合教育研究センター紀要 第3号 51-58
2007.6

ADHDのある子どもへの漢字の書字指導—コンピュータを用いた支援法の開発と個別式eラーニングの可能性— 齋藤はるか 生涯学習教育研究センター年報 第13巻 57-62
2008.3

Self-esteem enhancement in children with attention-deficit/hyperactivity disorder Tohoku Psychologica Folia Volume 66
2008.3

- 【学会発表】 Teaching Handwriting of Chinese Characters to Children with ADHD. Association for Behavior Analysis International, 33rd Annual ABA Convention ABA Program 128 International Symposium 関サンディエゴ
2007.5

発達障害幼児の保護者支援の在り方と課題 —福島大学「つばさ教室」でのペアレント・トレーニングの取り組みから— 松崎博文・昼田源四郎 第26回日本教育大学協会全国特殊教育部門合同研修会熊本大会要項, 51-54 関熊本市
2007.11

中野 明德

- 【論文】 H.S. サリヴァンの人格発達論 福島大学心理臨床研究 第2号
2007.7

学校不適応生徒の「自己愛脆弱性」の検討 天海久 福島大学心理臨床研究 第2号
2007.7

高等学校におけるピア・サポーター養成講座の試み 福島大学心理臨床研究 第2号
2007.7

中学校教師のストレスに関する日米比較 昼田源四郎・松崎博文・飛田操・初澤敏生 福島大学総合教育研究センター紀要 第4号
2008.1

- 【調査報告】 平成18(2006)年度福島大学総合教育研究センター附属臨床心理・教育相談活動報告 青木真理・生島浩・水野薫・渡辺隆 福島大学心理臨床研究 第2号
2007.7

2006年度臨床心理・教育相談室「フレンドルーム」活動報告 田村悠・天海久・荒川映子・齊藤麻里他 福島大学心理臨床研究 第2号
2007.7

2006年度臨床心理・教育相談室「スマイル会」活動報告 深谷妙子・小山亮子・加藤弘晃・青木真理 福島大学心理臨床研究 第2号
2007.7

総合教育研究センター「教育実践研修講座」2006年度活動報告 青木真理・生島浩・鈴木庸裕・宮前貢・水野薫・渡辺隆 福島大学総合教育研究センター紀要 第4号
2008.1

中間 玲子

- 【著書】 あなたとわたしはどう違う? 共著 ナカニシヤ出版

絶対役立つ教育心理学 共著 ミネルヴァ書房

- 【論文】 自尊感情の変動性における日常の出来事と自己の問題 小塩真司 福島大学研究年報 3
2007.12

- 【学会発表】 A study on the self-exploration during adolescence 13th European Conference on Developmental Psychology 関Friedrich Schiller University of Jena, in Jena, Germany
2007.8

“真の自己” 観念の所有とキャリア形成との関係 日本教育心理学会第49回総会 関文教大学越谷キャンパス
2007.9

自己探求的心性と自己意識および感情との関連. 日本心理学会第71回大会 関東洋大学白山キャンパス
2007.9

心理学者、実質的FDへの挑戦 日本心理学会第71回大会 関東洋大学白山キャンパス
2007.9

中村 恵子

【論文】 Temperature Dependence of Fraction of Frozen Water in Solutions of Glucose and its Oligomers, Dextrans, and Potato Starch P.Pradipasena, J.Tattakul and O.Miyawaki Food Science and Technology Research vol.13, No.4 2007

【学会発表】 野菜の好き嫌いとは家庭での料理方法について 日本家政学会 図長良川国際会議場 2007.5

福島県における米の摂取・調理状況と米に対する意識調査(第1報) 日本調理科学会 図お茶の水女子大学 2007.8

中村哲也

【論文】 「朝の読書」が問いかけるもの 単著 国語教育研究 423号 2007.7

文学作品の特性と読みの指導—「ごんぎつね」の語りの構造を中心に 単著 福島大学人間発達文化論集 6号 2007.12

浜島 京子

【調査報告】 「家庭科が育てる力を探究する—高等学校男女必修の成果に関する生徒・社会人・教師への全国調査から—」 渡邊彩子・浜島京子 日本家庭科教育学会誌 50巻・4号 2008.1

【学会発表】 ①小・中・高を通じた家庭科学習者の家庭科及び家庭生活の意識・実態—教員養成系及び多種分野の大学生調査より— 佐々木 渉・浜島京子 日本家庭科教育学会第50回大会 図国立オリンピック記念青少年総合センター 2007.7

②台湾の初等教育における家庭生活関連学習について 浜島京子・清百世・白間有希 日本家庭科教育学会東北地区会平成19年度大会 図秋田大学教育文化学部 2007.11

松崎 博文

【論文】 「困り感」に寄り添う細やかな支援 松崎博文・本多環 福島大学総合教育研究センター紀要 第4号 2008.1

【学会発表】 発達障害幼児の保護者支援の在り方と課題—福島大学「つばさ教室」でのペアレント・トレーニングの取り組みから— 松崎博文・昼田源四郎・鶴巻正子 第26回日本教育大学協会特殊教育研究部門合同研究集会 図熊本大学 2007.11

文学・芸術学系

新井 浩

【実技】 蝶が舞う森—環— 175×60×60cm 第82回国展彫刻部 図国立新美術館 会員 2007.5

蝶が舞う森<放つ>ほか35点出品 60×25×35 新井浩彫刻展 個展 図ギャラリー マスガ 画廊企画 2007.5

奏—何処へ— 38×38×29 第31回国画会彫刻部の試み展 図東京都美術館 彫刻部企画 2007.12

奏—此処へ— 22×8×12 YEAR END EXHIBITION OF MINI-SCULPTURE 図ギャラリー せいほう 画廊企画 2007.12

響—pear—ほか2点出品 36×17×27 波動展 図矢吹町ふるさとの森芸術村 画廊企画 2007.12

片野 一

【実技】 木工作品「海原の向こうから」 第29回日本新工芸展 図国立新美術館 会員として出品 2007.5

木工作品「木画盆・セルティックの声」 第25回新工芸会東北展 図仙台メディアテーク 会員として出品 2007.7

木工作品「潮風にのって」 第25回新工芸会東北展 図仙台メディアテーク 会員として出品 2007.7

勝倉 壽一

【著書】 歴史小説の空間 単著 和泉書院

【論文】 「安井夫人」の問題 福島大学人間発達文化学類論集 5号 2007.6

『懐硯』「後家に成ぞこなひ」の解釈 解釈 53巻9・10号 2007.10

金谷 昌治

【実技】 東京ハルモニア室内オーケストラ第34回定期演奏会(協演) 東京ハルモニア室内オーケストラ 日本室内オーケストラ協議会 図東京文化会館小ホール 2007.5

相曾健一郎ヴァイオリンリサイタル通奏低音担当(協演) カトリック埼玉教区 図カトリック大宮教会聖堂 2007.10

東京ハルモニア室内オーケストラ第35回定期演奏会(協演) 東京ハルモニア室内オーケストラ日本室内オーケストラ協議会 図東京文化会館小ホール 2007.10

箱根の秋音楽祭 東京ハルモニア室内オーケストラ演奏会 (協演) 東京ハルモニア室内オーケストラ 箱根仙石原文化センター 2007.11

セミナーレ・カメラータ第7回コンサート (協演) セミナーレ・カメラータ 箱根テルサ FT ホール 2008.2

澁澤 尚

【論文】 崑崙と明堂—孔穴名の源流— 『日本鍼灸史学会論文集』 第3号 2007.11

陸游と菰—放翁詩作をめぐる本草学的考察— 『學林・白川静先生追悼記念論集』 第46・47号 2008.3

健康・運動学系

工藤 孝幾

【論文】 系列動作のモデリングにおける学習方略に関する研究 片平智幸 福島大学人間発達文化学類論集 (社会科学部門) 第6号 2007.12

黒須 充

【著書】 総合型地域スポーツクラブの時代 第1巻 部活とクラブとの協働 編著 創文企画 p.1—pp.26, pp.69—pp.169 2007.10

【調査報告】 ドイツにおけるスポーツクラブ 月刊みんなのスポーツ 2007年8/9月号 2007.8

スポーツは人生を豊かにする 月刊女子体育 2008年2月号 2008.2

ドイツのスポーツクラブ運営に関する現状と課題 指導者のためのスポーツジャーナル Vol.275 2008.2

総合型地域スポーツクラブが地域に果たす役割 月刊マナビィ 2008年/No.81 2008.3

トップレベル競技者のセカンドキャリア支援に関する調査研究事業報告書 文部科学省スポーツ・青少年局競技スポーツ課 2008.3

東北におけるスポーツ交流と地域活性化 東北開発研究センター 2008.3

佐々木武人

【学会発表】 精神科患者への運動療法の適用とその効果について 日本健康行動科学会第6回大会 山形大学 2007.11

杉浦 弘一

【学会発表】 福島大学学生版日常生活活動量調査票 (FUPAQ) 作成の試み 日本体力医学会東北地方会 福島市 2007.6

【実技】 福島大学女子バスケットボール部 (ヘッドコーチ) 平成19年度 東北地区大学総合体育大会 第3位 2007.6

福島大学女子バスケットボール部 (ヘッドコーチ) 第8回東北学生バスケットボールリーグ 1部第5位 2007.9~10

福島大学男子バスケットボール部 (ヘッドコーチ) 第8回東北学生バスケットボールリーグ 2部南奥羽地区第2位 2007.9~10

鈴木裕美子

【調査報告】 4) 生涯学習におけるダンス—地域主催の行事におけるアトラクションとして—

【学会発表】 3) 地域スポーツとダンス 第59回舞踊学会

外国語・外国文化学系

池澤 實芳

【論文】 浪漫主義詩人・雷石楡の誕生—一局清の『沙漠の歌』批判及びその他— 商学論集 76巻1号 2007.9

井本 亮

【論文】 「向き」を表す副詞的成分をめぐる—「机に茶碗をさかさまに置いた」の成立条件— 日本語文法 7巻2号 2007.9

【学会発表】 情態修飾関係の分類について 現代日本語文法研究会 八洲学園大学 2007.10

衛藤 安治

【書評】 家入葉子著『ベーシック英語史』(ひつじ書房) 大修館『英語教育』2月号 56・12 2008.2

霜鳥 慶邦

【著書】 『D.H. ロレンスとアメリカ/帝国』 共著 慶應義塾大学出版会

【論文】 「ベデカー時代の世界を旅するには—20世紀前半地中海世界の旅戦略」 単著 『英語青年』 第153巻第8号 2007.10

「女神になったマリンチェ—『羽鱗の蛇』とアステカの記憶」 単著 『英文学研究』 第84巻 2007.12

【訳書・翻訳】 『D.H. ロレンス書簡集 IV : 1913年』
共訳 松柏社 2007.9

『D.H. ロレンス書簡集 V : 1914年』
共訳 松柏社 2008.3

【学会発表】 <シンポジウム> 「トラベル・ライティ
ングの行方」 2007年度大塚英文学会
大会 圏筑波大学大塚キャンパス
2007.4

【書 評】 「第一次大戦と起源／期限なき記憶」
『英語青年』 第154巻第1号 2008.3

Gunske von Kölln, Martina

【論 文】 Erfordernisse an die Glossarerstellung
—Rezension zu 『単語集XXL ドイツ語
—日本語』, Glossar zum Lehrbuch
『Schritte international 1』, Hueber Ver-
lag, 2007, 商学論集第76巻第1号
[The Shogaku Ronshu, Journal of Com-
merce, Economics and Economic His-
tory, 76/1], 福島大学経済学会
[Fukushima University, The Economic
Society of Fukushima University],
pp. 53—63. 2007.9

Learning more than English as a foreign
language : Are textbook designs fit for
OLE classrooms ? , Jalt Pan-SIG 2007
Conference Proceedings, (online version:
<http://www.jalt.org/pansig/2007/HTML/GVK.htm>). 2007.9

Zusatz-Lehrmaterialien im japanischen
Lernkontext : Erfordernisse an die Glos-
sarerstellung am Beispiel des deutsch-ja-
panischen Glossars 『単語集XXL ドイツ
語—日本語』 für das Lehrbuch 『Schritte
international 1』, Hueber Verlag, 2007, On-
line version : <http://www.deutsch-in-japan.de/lektorenrundbrief/rdbrief31.html#glossar> 2007.7

【学会発表】 『Mist ist nicht unbedingt ein Hunde-
haufen "Ü berlegungen zur Unterst ü
tzung der Wortschatzarbeit durch lernf
ö rdernde Glossare", Jalt 2007 第33
回全国語学教育学会国際大会 圏東京国
立オリンピック記念青少年総合センター
2007.11

Are textbook designs fit for our current
OLE classrooms ? , Jalt Pan-SIG 2007
仙台 圏東北文化学園大学, plenary
presentation. 2007.5

【実 技】 指導：外国語教員の授業見学とカウンセ
リング 2007.4～2008.3

【書 評】 Zusatz-Lehrmaterialien im japanischen
Lernkontext : Erfordernisse an die Glos-

sarerstellung am Beispiel des deutsch-ja-
panischen Glossars 『単語集XXL ドイツ
語—日本語』 für das Lehrbuch 『Schritte
international 1』, Hueber Verlag, 2007,
in: Lektorenrundbrief Nr. 31, pp. 10—13.
2007.7

佐野 敦至

【著 書】 プログレッシブ仏和辞典 第2版 共
同執筆 小学館 2008.3

根本 典子

【論 文】 「表面接触を表す動詞と動能構文の適合
性について —統語的特性の決定に關与
する意味側面に関する一考察—」 英
語語法文法研究 第14号 2007

A Constructional Analysis of Bodily Mo-
tion Expressions English Linguistics
Volume 24, Number 2 2007

林 修

【著 書】 仏検公式問題集2008年度版準一級 共
著 駿河台出版社 2008.3

ノイズとダイアローグの共同体 共著
筑波大学出版会 2008.3

【学会発表】 La Reception de l'Oeuvre yourcenarienne
au Japon 国際ユルスナル研究学会
クレルモンフェラン・ブレーズパスカル
大学 (フランス) 2007.11

福富 靖之

【学会発表】 The Internal Structure of Japanese *Wh*-
Phrases 4th Workshop on Altaic in
Formal Linguistics 圏Harvard Univer-
sity 2007.5

Japanese Right Dislocation: A Preliminary
Study On Linguistic Interfaces
圏University of Ulster 2007.6

Ka-doo-ka: Disjunction of Clauses 9th
Seoul International Conference On Gen-
erative Grammar 圏Kwangwoon Univer-
sity 2007.8

Ka-doo-ka : Disjunction of Questions
LAGB Meeting 2007 圏King's College
London 2007.8

The Internal Structure of Japanese *Wh*-
Phrases Le septieme Colloque de
Syntaxe et Semantique a Paris 圏Ecole
Normale Superieure 2007.10

Ka-doo-ka as a complex *wh*-phrase
The 34th Incontro di Grammatica Gen-
erativa 圏University of Padova 2008.2

Right Dislocation in Japanese: A Prelimi-

nary Study Rightward Movement in
a Comparative Perspective ㊦University
of Bamberg 2008.2

吉川 宏人

【論 文】 ゴーゴリ『狂人日記』—二つの戯曲の狭
間で— スラヴィアーナ 22号
2007.12

法律・政治学系

今井 照

【著 書】 自治体職員制度の設計 共著 公人
社

自治体のアウトソーシング 単著
学陽書房

自治体選挙の30年 共著 公人社

【論 文】 「市町村・都道府県・国の相互人事交流
（「出向」の動向） 『住民行政の
窓』 306号 2007.4

「自治体の現場力」 『年報自治体
学』 20号 2007.7

「公共サービス改革法の概要と課題」
『市民政策』 54号 2007.11

「自治体職員の仕事をどう再構築すべき
か」 『月刊自治研』 580号 2008.1

「市町村合併に伴う自治体政治動向につ
いて（2007）—自治体選挙、国政選挙、
直接請求等の集計・分析— 『自治
総研』 353号 2008.3

「市民参加・市民協働の論点」 東京
都市町村職員研修所編『翔』 11号
2008.3

【学会発表】 「自治体における市場化テストの課題と
展望」 公共政策学会 ㊦東北大学
2007.6

「自治体人事行政と成績・実績主義」
自治体学会 ㊦舞鶴市 2007.8

「自治体政策決定の論点—住民投票と首
長マニフェスト評価」 日本地方自治
学会 ㊦東洋大学 2007.11

功刀 俊洋

【論 文】 革新自治体史のなかの飛鳥田神話 行
政社会論集 20巻2号 2008.1

地方政治における戦後体制の成立 年
報日本現代史（現代史料出版） 13号
2008.5

社会党市長の急増と分解と後退 行政
社会論集 21巻1号 2008.7

小島 定

【論 文】 （露文） Восприятие работ Макса
Вебера в России в начале XX века
и « вебер - овский ренессанс »
конца XX века. « Пути России:
преemptивность и прерывистость
общественного развития », Москва
IV 2007

（« Пути России: п реemptивность
и прерывистость общественного
развития », Москва, Московская
высшая социальных и экономиче
ских наук, X IV, 2007. С. 51—67..）

【調査報告】 マックス・ヴェーバーとロシア宗教思想
の交錯（平成18—19年度科学研究費
補助金研究成果報告書） 2008.6

中里見 博

【著 書】 比較判例ジェンダー法 共著 不磨
書房

ジェンダーの基礎理論と法 共著
東北大学出版会

マイノリティとネーション 共著
岩波書店

【論 文】 「セックスワーク論」：ジェンダー研究
におけるトロイの木馬—青山報告へのコ
メント お茶の水女子大学21世紀
COEプログラム F-GENS Publication Se-
ries 34 2008.3

ポルノグラフィと性暴力—ポルノ被害の
可視化に向けて 戦争と性 26
2007.7

解体されるべき男らしさとは何か 現
代のエスプリ別冊「セルフ・アイデン
ティティ 拡散する男性像」 2007.4

【訳書・翻訳】 女の地位、男の国家 単著 辻村み
よ子他編『世界のジェンダー平等—理論
と政策の架橋をめざして』東北大学出版
会 2008.3

社会・歴史学系

阿部 成治

【論 文】 住戸規模の地方差とその背景に関する研
究—多雪地方と南海地方の比較を中心と
して 木内 望 日本建築学会計画
系論文集 622号 2007.12

【調査報告】 ドイツの土地利用計画における新規住宅
用地算定と小規模集落の扱い 都市計
画報告集 No.6—2 2007.9

- 【学会発表】 福島市における区域区分後の人口変動に関する研究 日本建築学会 函館岡大学 2007.8

加藤 眞義

- 【論文】 「生命介入の時代の「人格」理解のために—ドイツ社会理論のコミュニケーション概念を手がかりに—」 『行政社会論集』 第20巻第4号 2008.3

高橋 準

- 【書評】 「ジェンダーに敏感でありたいと願う読み手と、そして描き手/書き手のために」(押山美知子、『少女マンガジェンダー表象論—“男装の少女”の造形とアイデンティティ』、彩流社、2007年) 図書新聞 2822号 2007.5
- 「『ことば』という制度と実践」(中村桃子、『性』と日本語』、日本放送出版協会、2007年) 図書新聞 2859号 2008.2

丹波 史紀

- 【著書】 格差・貧困と生活保護 共著 明石書店
- 【論文】 中山間地の災害復興と被災者生活再建の課題 単著 地域創造 19巻第1号 2007.9

牧田 実

- 【論文】 国生審「コミュニティ」報告の特徴と問題 『コミュニティ政策』 第5号 2007.7
- 東京のモデル・コミュニティ—東京都武蔵野市西久保地区 『コミュニティ政策』 第5号 2007.7
- 【学会発表】 地方圏における地域住民組織の現段階—福島県での連携・協働を中心に— コミュニティ政策学会第6回大会 函早稲田大学 2007.7

経済学系

阿部 高樹

- 【論文】 "FISHERIES MANAGEMENT SYSTEMS IN AUSTRALIA:QUEENSLAND STANCE"(研究ノート) Chika Ohashi 『福島大学地域創造』 第19巻第2号 2008.2
- 【調査報告】 「ホッキガイの資源管理型漁業—宮城県山元町漁協の事例—」 小島彰・井上健 『福島大学地域創造』 第19巻第1号 2007.9

「ホッキガイの資源管理型漁業—苫小牧漁協、いぶり中央漁協虎杖浜支所・白老支所・登別支所の事例—」 井上健・小島彰・星野珉二 『福島大学地域創造』 第19巻第2号 2008.2

飯島 充男

- 【調査報告】 アーバンフリンジにおける開発圧力の実態と開発規制制度に関する日英比較研究 Mike Beazley, 鈴木浩 科学研究費・研究成果報告書 2008.3

熊本 尚雄

- 【訳書・翻訳】 デビッド・M. クレプス『MBAのためのマイクロ経済学入門Ⅰ—価格と市場—』 共訳 東洋経済新報社 2008.3

小島 彰

- 【調査報告】 ホッキガイの資源管理型漁業 阿倍高樹・井上健 福島大学地域創造 19巻1号 2007

小山 良太

- 【著書】 軽種馬経営財務管理指導教本 共著 中央畜産会
- 【論文】 経営所得安定対策と集落営農の課題 東北農業経済研究 第25巻1号(通巻50号) 2007.8
- 過疎・中山間地域を巡る政策変化と今後の振興課題 Think Tank Fukushima NEWSLETTER No.38 2007.7
- 【調査報告】 「JA伊達みらいにおける営農指導体制と組合員組織の活性化」 『日本農業の縮小・再編下における農協経営の危機と打開の方向』 農業・農協問題研究所 2008.3
- 「農産物流通構造と産地戦略の課題」 『五所川原農業活力推進計画及びアンケート・ヒヤリング調査報告—集落と営農の新たな挑戦—』 2008.3

「水田経営所得安定対策(品目横断的経営安定対策)の導入に伴う農地の権利移動の変化等について—宮城県角田市—」 『平成19年度構造改善基礎調査報告書』 東北農政局 2008.3

地方都市と農山村をつなぐネットワーク型の地域づくり Think Tank Fukushima NEWSLETTER No.41 2008.3

ホッキガイの資源管理型漁業—鶴川漁協・ひだか漁協の事例— 初澤敏生・東田啓作 地域創造 第18巻第2号 2008.2

協同組合の再構築と組織運営の課題 労農のなかま No.508 2007.9

【学会発表】 新システム下における農協の米需給調整の役割 日本協同組合学会 函島根大学 2007.10

米政策改革下における生産調整の問題点 日本農業市場学会 函愛媛大学 2007.7

【書 評】 谷口信和・李侖美著『JA（農協）出資農業生産法人一担い手問題への新たな挑戦』農山漁村文化協会・2006年 協同組合研究 第26巻第2号（通巻74号） 2007.8

佐野 孝治

【論 文】 ベトナムにおける国際NGOの展開（I）—発展プロセスと全体像 『福島大学地域創造』 第19巻第2号 2008.2

初澤 敏生

【著 書】 世界の国々を調べる 共著 古今書院

【論 文】 中学校教師のストレスに関する日米比較 中野明德、昼田源四郎、松崎博文、飛田操 福島大学総合教育センター紀要4 2008.1

ホッキガイの資源管理型漁業 小山良太、東田啓作 福島大学地域創造 19.2 2008.2

【学会発表】 カマボコ製造業の地域的特性 東北地理学会 函仙台市戦災復興記念館 2007.5

地場産業の構造変化と存立基盤 経済地理学会 函福島大学 2007.7

北海道むかわ町におけるホッキガイの資源管理 日本地理学会 函獨協大学 2008.3

山川 充夫

【論 文】 改正まちづくり三法がめざす都市構造とは 福島大学地域創造 19巻1号 2007.9

福島県商業まちづくり条例の意義 地域経済学研究 17号 2007.5

福島県商業まちづくり条例の意義と課題 中小商業研究 92号 2007.7

地域社会と共生する商店街 地理 52巻11号 2007.11

【学会発表】 福島県商業まちづくり条例施行の効果 日本地理学会 函独協大学 2008.3

経営学系

櫻田 涼子

【著 書】 『入門 組織行動論』 共著（第4章担当執筆） 中央経済社

【論 文】 「組織フラット化に伴うインセンティブ構造の変容—キャリア・プラトー現象を通じて—」（日本経営学会第80回全国大会自由論題稿）『新時代の企業行動—継続と変化—」（経営学論集第77集）日本経営学会編、千倉書房 172—173頁 2007.9

林 正

【著 書】 国際ビジネス理論 共著 中央経済社 2008.3

【論 文】 研究開発機能の対外直接投資と投資受入国に内在する技術の獲得 —日本製薬産業に関する実証分析— 国際ビジネス研究学会年報 第13号 2007.10

【訳書・翻訳】 国際ビジネス研究の新潮流 共訳 中央経済社 2008.3

【学会発表】 研究組織におけるプロジェクトリーダー自律性と管理の葛藤— 組織学会 函神戸大学 2007.6

研究活動における自律性の付与 —プロジェクトリーダーによる弊害の克服— 研究・技術計画学会 函垂細垂大学 2007.10

技術のスピルオーバーと海外研究開発拠点の成果 —海外研究開発拠点の成果が本国研究開発拠点において活用される前提条件— 国際ビジネス研究学会 函高崎経済大学 2007.10

数理・情報学系

石井 博行

【論 文】 Kowalevski's exponents of two or three dimensional perturbed Yang-Mills equations 人間発達文化学類論集 第5号 2007.6

Kowalevski's exponents of some nonlinear differential equations 人間発達文化学類論集 第6号 2007.12

石岡 賢

【著 書】 商品開発・管理入門 共著 中央経済社

【論 文】 Managing Product Technology and Style with Sustomer Focus Kazuhiko Yasuda Proceedings of the 14th International

Product Development Management Conference Part 2 (3) 2007.8

Product Management Strategies for a Technology Product Market Kazuhiko Yasuda Proceedings of the Portland International Conference on Management of Engineering and Technology '07 2007.8

A Study on Product Development Management for Technology Product Market Kazuhiko Yasuda Proceedings of the 8th Asian Pacific Industrial Engineering and Management Systems Conference 2007.12

革新的製品市場における製品開発コンセプトの構築 福島大学年報 Vol.3 2007.12

【学会発表】 デザインファクターを考慮した製品開発の戦略的マネジメント 研究・技術計画学会 2007.10

神長 裕明

【論文】 A Visual Bookmark Sharing System Considering Retrieval Scenes and Its Evaluations Shoichi Nakamura, Hirokazu Shirai, Setsuo Yokoyama, and Youzou Miyadera Proc.The IEEE 21st International Conference on Advanced Information Networking and Applications, IEEE Computer Society Press pp.730-737 2007.5

WEB上での話題の遷移過程に着目した情報探索支援手法の提案 井口智之・横山節雄・宮寺庸造・中村勝一 電子情報通信学会技術研究報告. ET, 教育工学 Vol.107, No.327 pp.33-38 2007.11

Web探索支援のための話題遷移過程の着目箇所・ページクラスタ抽出手法 井口智之・横山節雄・宮寺庸造・中村勝一 電子情報通信学会技術研究報告. ET, 教育工学 Vol.107, No.536 pp.119-124 2008.3

董 彦文

【論文】 A Case Based Reasoning System for Customer Credit Scoring: Comparative Study of Similarity Measure Proceedings of The 51st Annual Meeting of the International Society for the Systems Sciences CD-ROM, Tokyo, Japan 2007.8

An Application of Support Vector Machines in Small-Business Credit Scoring Proceedings of The Second International

Conference on Innovative Computing, Information and Control (ICICIC2007) CD-ROM, Kumamoto, Japan 2007.9

【学会発表】 ヒューマンエラーの観点に基づく個人情報漏えい事故の脅威と発生頻度の算定手法に関する考察 小針亮子, 董彦文 日本経営工学会 圏東京 2007.5

日常業務データに基づく取引先信用評価のための評価指標選択に関する研究 日本経営工学会 圏小樽 2007.9

中村 勝一

【論文】 A Real-time Monitoring System for Programming Education using a Generator of Orogram Animation System Youzou Miyadera, Kunimi Kurasawa, Nobuyoshi Yonezawa, Setsuo Yokoyama Journal of Computer Vol. 2, No. 3, pp.12-20 2007.5

A Visual Bookmark Sharing System Considering Retrieval Scenes and Its Evaluations Hirokazu Shirai, Hiroaki Kaminaga, Setsuo Yokoyama, Youzou Miyadera Proc.The IEEE 21st International Conference on Advanced Information Networking and Applications, pp.730-737, IEEE Computer Society Press 2007.5

A Learning Environment for Understanding of Program Division Patterns Keisuke Suzuki, Setsuo Yokoyama, Youzou Miyadera Proc.11th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information and Engineering Systems, in LNAI 4694, pp.554-566, Springer 2007.9

研究情報推移グラフによる情報の個人管理・共有手法 宮寺庸造, 横山節雄, 夜久竹夫 電子情報通信学会論文誌 Vol.J91-D, No.3, pp.639-653 2008.3

【学会発表】 プログラミング学習状況把握のためのハイブリッド学習環境の構築 電子情報通信学会 教育工学研究会 圏岩手 2007.7

WEB上での話題の遷移過程に着目した情報探索支援手法の提案 電子情報通信学会 教育工学研究会 圏金沢 2007.11

研究活動支援における場面に適応的な情報抽出・視覚的提示手法 電子情報通信学会 教育工学研究会 圏徳島 2008.3

Web探索支援のための話題遷移過程の着

目箇所・ページクラスタ抽出手法 電
子情報通信学会 教育工学研究会 函徳
島 2008.3

星野 珙二

【論文】 定期発注方式における安全在庫量の最適
化～品切れコストが所与の場合 単
商学論集 第76巻第4号 2008.3

【調査報告】 アンケート調査による福島県内自治体お
よび企業の情報化の現状と課題 青木
正彦・野木俊宏・赤坂真一 地域創造
第19巻第2号 2008.2

ホッキ貝資源管理型漁業 井上 健・
阿部高樹・小島 彰 地域創造 第19
巻第2号 2008.2

機械・電子学系

石原 正

【論文】 Design of critical control systems for
non-minimum phase plants via LTR tech-
nique T.Ono IEEJ Trans.on Elec-
tronics, Information and Systems 127
巻・5号 2007.5

Davison type integral controllers for time
delay plants using a simplified predictor
J.Wu and Q.M.J.Wu Control and In-
telligent Systems 35巻・3号 2007.6

【学会発表】 Design of generalized disturbace can-
cellation controllers via singular LTR
H.-J.Guo The 2007 International
Conference on Mechatronics and Infor-
mation Technology 函Gifu, Japan
2007.12

小沢 喜仁

【論文】 Mechanical Behavior of Composite Ma-
terial System with Lightweight in Tem-
perature Condition Kikuchi,T.,Watan-
abe,M.and Yabuki,K. Proceedings of
The Seventh International Congress on
Thermal Stresses (2007-6),pp.733-
736.

Mechanical Characteristic of Bacterial
Cellulose Composite Materials
Kikuchi, T. Proceedings of The 16th
International Congress on Composite
Materials, (2007-7), pp.416-417
(Book of Abstract),File No.TuGA1-03
(CD-ROM,Full Paper of 6 pages).

Reinforcing Mechanism for Three Dimen-
sional Micro-Structure of Bacterial Cellu-
lose Composite Materials Tokio
Kikuchi, Masayoshi Watanabe and Koi-

chi Yabuki Proceedings of The Sixth
Korea-Japan Joint Symposium on Com-
posite Materials (2007-11),pp.733-736.

【学会発表】 Mechanical Behavior of Composite Ma-
terial System with Lightweight in Tem-
perature Condition Kikuchi,T.,Watanabe,
M.and Yabuki,K. The Seventh Inter-
national Congress on Thermal Stresses
函国立台湾科学技術大学(台北市)
2007.6

バクテリアセルロースを用いたフォーム
材の構造 菊地時雄、小沢喜仁、渡邊
真義、矢吹浩一 プラスチック成形加
工学会年次大会 2007.6

Mechanical Characteristic of Bacterial
Cellulose Composite Material Kikuchi,T.
The 16th International Congress on Com-
posite Materials 函京都国際会館(京都
市) 2007.7

マイクロガラスバルーンを用いた軽量複
合材料の機械的特性に及ぼす温度の影響
菊地時雄、渡邊真義、矢吹浩一 日本
航空宇宙学会 第49回構造強度に関する
講演会 函コラッセふくしま(福島市)
2007.7

マイクロガラスバルーンを用いた有機複
合材料の温度特性 菊地時雄、渡邊真
義、矢吹浩一 日本機械学会年次大会
函関西大学工学部(吹田市) 2007.9

Reinforcing Mechanism for Three Dimen-
sional Micro-Structure of Bacterial Cellu-
lose Composite Materials Tokio Kikuchi,
Masayoshi Watanabe and Koichi Yabuki
The Sixth Korea-Japan Joint Symposium
on Composite Materials 函Pohang Uni-
versity of Science and Technology
(POSTECH), Pohang, Korea
2007.10~11

バクテリア・セルロースを用いた複合材
菊地時雄、渡邊真義、矢吹浩一 九州
大学応用力学研究所主催、日本複合材料
学会関西支部共催の研究集会「ナノ複合
材料の創製および評価に関する研究」
函九州大学応力研・福岡市 2008.1

三次元強化構造を有するバクテリア・セ
ルロース複合材料の開発 菊地時雄、
渡邊真義、矢吹浩一 J-COM37-材
料・構造の複合化と機能化に関するシン
ポジウム 函同志社大学今出川キャン
パス寒梅館(京都市) 2008.3

【特 許】 多孔質体および多孔質体の製造方法
菊地時雄・小沢喜仁・高橋隆行 特願
2007-231769

柴原哲太郎

- 【論文】 診療情報の患者による携帯可能なシステムの技術開発 吉川聡, 高嶋幸男
生涯学習教育研究センター年報 13巻
2008.3

田中 明

- 【論文】 Evaluation of adaptation to visually induced motion sickness based on the maximum cross-correlation between pulse transmission time and heart rate. Sugita N, Yoshizawa M, Abe M, Tanaka A, Watanabe T, Chiba S, Yambe T, Nitta S. J Neuroeng Rehabil 4 2007.9

A pilot study on pupillary and cardiovascular changes induced by stereoscopic video movies. Oyamada H, Iijima A, Tanaka A, Ukai K, Toda H, Sugita N, Yoshizawa M, Bando T. J Neuroeng Rehabil 4 2007.10

Detection and quantification of calcifications in intravascular ultrasound images by automatic thresholding. Santos Filho E, Saijo Y, Tanaka A, Yoshizawa M. Ultrasound Med Biol. 34·1 2008.1

Quantitative evaluation of effects of visually-induced motion sickness based on causal coherence functions between blood pressure and heart rate N. Sugita, M. Yoshizawa, A. Tanaka, K. Abe, S. Chiba, T. Yambe, S. Nitta Displays 29·2 2008.3

Fractal dimension of 40 MHz intravascular ultrasound radio frequency signals. Santos Filho E, Saijo Y, Tanaka A, Yambe T, Yoshizawa M Ultrasonics 48·1 2008.3

- 【学会発表】 Coronary plaque classification with intravascular ultrasound radio-frequency signal analysis using self-organizing map ICU 2007 ⑧Paris, France 2007.4

Radio frequency signal analysis for tissue characterization of coronary artery: in vitro intravascular ultrasound study 29th International Symposium on Acoustical Imaging ⑧Shonan, Japan 2007.4

Evaluation of adaptation to visually induced motion sickness by using physiological index associated with baroreflex function The 29th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society ⑧Lyon, France 2007.8

Estimation of effects of visually-induced motion sickness using independent component analysis. The 29th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society ⑧Lyon, France 2007.8

Morphological approach for the functional improvement of an artificial myocardial assist device using shape memory alloy fibres. ⑧Lyon, France 2007.8

Blood flow visualization of left atrial spontaneous echo contrast (SEC) using gradient based optical flow estimation. ⑧Lyon, France 2007.8

ESTIMATION OF MAXIMUM VENTRICULAR ELASTANCE UNDER ASSISTANCE WITH A ROTARY BLOOD PUMP The 2nd Meeting of the International Federation for Artificial Organs ⑧Osaka, Japan 2007.10

EVALUATION OF Emax ESTIMATION BASED ON MOTOR CURRENT AND ROTATIONAL SPEED 15th Congress of ISRBP ⑧Sydney, Austraria 2007.11

投薬時における血圧-心拍数間の最大相互相関係数 ρ_{max} の変化 第46回日本生体医工学会大会 ⑧仙台 2007.4

補助人工心臓制御法と左心室仕事量の循環系シミュレータを用いた検討 第46回日本生体医工学会大会 ⑧仙台 2007.4

心拍-血圧変動間の因果コヒーレンス関数による減効果の評価 第46回日本生体医工学会大会 ⑧仙台 2007.4

加速度センサを用いた心室細動・心室頻拍の検出 第46回日本生体医工学会大会 ⑧仙台 2007.4

容積脈波の独立成分分析による生理指標の抽出 第46回日本生体医工学会大会 ⑧仙台 2007.4

自己組織化マップを用いた血管内超音波画像の自動解析 第46回日本生体医工学会大会 ⑧仙台 2007.4

定常流型補助人工心臓の制御方式の相違が自己心に与える影響 第45回日本人工臓器学会大会 ⑧大阪 2007.10

福田 一彦

- 【著書】 眠りの科学とその応用 (第2章 学校教育と睡眠) 単著 (分担執筆)
CMC 出版

- 【論文】** Does television viewing cause delayed and/or irregular sleep-wake patterns? Asaoka, S., Fukuda, K., Tsutsui, Y. & Yamazaki, K. *Sleep and Biological Rhythms* 5, 1, 2007. 4
特集に寄せて：睡眠学への心理学の貢献 福田一彦 *生理心理学と精神生理学* 25巻1号 2007. 4
子供と青年における睡眠パターンと睡眠問題 浅岡章一、福田一彦、山崎勝男 *生理心理学と精神生理学* 25巻1号 2007. 4
小学生から成人まで利用可能なストレス反応質問紙（健康調査）の作成 石原金由、福田一彦 *ノートルダム清心女子大学紀要* 31巻1号 2007. 5
- 【学会発表】** 情動スライドにより喚起される事象関連電位の左右差について 第25回日本生理心理学会 函札幌 2007. 7
メロディらしさの異なる音列の各構成音に対する事象関連電位の比較 第25回日本生理心理学会 函札幌 2007. 7
仮眠後の睡眠慣性がエラーモニタリング機能に与える影響 第25回日本生理心理学会 函札幌 2007. 7
睡眠による記憶・技能の向上—近年の発見と今後の発展— 第71回日本心理学会 函東京 2007. 9
心理学における睡眠研究（16）—子どもの睡眠の現状と問題点— 第71回日本心理学会 函東京 2007. 9
音列のメロディらしさの違いによる事象関連電位の変化 個々の音に対する反応の比較 第71回日本心理学会 函東京 2007. 9
保育園の昼寝は是か非か 活動量連続記録を用いた検討 第71回日本心理学会 函東京 2007. 9
睡眠慣性がエラー反応のモニタリングに与える影響 第71回日本心理学会 函東京 2007. 9
定年退職と精神健康（4）—性差による違いを中心に— 第71回日本心理学会 函東京 2007. 9
保育園児の昼寝と夜間睡眠との関係 活動量連続記録を用いた検討 第32回日本睡眠学会 函東京 2007. 11
テレビ視聴スタイルと睡眠パターンとの関係 第32回日本睡眠学会 函東京 2007. 11

情動スライドによって喚起された快・不快と関連する前頭部事象関連電位の左右差について 第37回日本臨床神経生理学学会 函宇都宮 2007. 11

メロディらしさの異なる音列に対する事象関連電位の比較：音の進行に伴うメロディ処理の変化について 共 第37回日本臨床神経生理学学会 函宇都宮 2007. 11

二見 亮弘

【論文】 Temporal Resolution of the Skin Impedance Measurement in Frequency-domain Method. T. Fukumoto, G. Eom, S. Ohba, R. Futami and N. Hoshimiya *IEEE Transactions on Biomedical Engineering* Vol. 54, No. 1, pp. 170–173 2007

Gyro-Mouse for the Disabled: 'Click' and 'Position' Control of the Mouse Cursor. Gwang-Moon Eom, Kyeong-Seop Kim, Chul-Seung Kim, James Lee, Soon-Cheol Chung, Bongsoo Lee, Hiroki Higa, Norio Furuse, Ryoko Futami, and Takashi Watanabe *International Journal of Control, Automation, and Systems* Vol. 5, No. 2, pp. 147–154 2007. 4

【学会発表】 局所筋電駆動型電気刺激装置を用いた回復期片麻痺症例に対する歩行中の足関節制御 関和則、二見亮弘、半田康延 第14回日本FES研究会学術講演会講演論文集, pp. 48–51 函岡山市 2007. 12

山口 克彦

【論文】 Angle-resolved analysis of magnetic hysteresis for micro-magnetic clusters with local deformation Kenji Suzuki, Osamu Nittono, Toshiyuki Takagi and Koji Yamada *Physica B* 403, pp. 354–359 2008

【調査報告】 UV-LIGAを用いた微細磁気構造をもつ磁性体めっきパターン形成による磁気スケールの開発 入野野修 *JST 産学共同シーズイノベーション化事業顕在化ステージ報告書* 2007

【学会発表】 Angle-resolved analysis of magnetic hysteresis for micro-magnetic clusters with local deformation hysteresis modeling and micromagnetics 2007 函ナポリ（イタリア） 2007. 6

磁気光学効果を用いた Fe スパッタ薄膜の動的磁化過程測定 第32回日本応用磁気学会学術講演会 函東京（学習院大） 2007. 11

局所変形磁気クラスターの磁化過程モン

テカルロシミュレーション 第32回日
本応用磁気学会学術講演会 ㊦東京(学
習院大) 2007.11

物質・エネルギー学系

猪俣 慎二

【調査報告】 Co(acac)₂(acac=アセチルアセトナト配
位子)および Co(NCS)₂(py)₄(py=ピリジ
ン配位子)を用いるコバルトセンの新規
合成法の開発 篠田綾・沢田繁信・村
田由香里 共生のシステム 6巻
2008.3

【学会発表】 新規な架橋配位子 μ_3 -S₃C₂(H)(CO₂Me)₂の
形成を伴う混合配位子三鉄クラスターの
合成と性質 第57回錯体化学討論会
㊦名古屋 2007.9

新規ジチオカルバマトヘキサスルフィド
亜鉛錯体の反応性 平成19年度化学系
学協会東北大会 ㊦山形 2007.9

佐藤 理夫

【著 書】 水素利用技術集成 Vol.3-加速する実用
化技術開発- 共著 エヌ・ティー
・エス

【論 文】 直接燃焼型コージェネレーションによる
廃食用油のエネルギー高効率利用 単
著 福島大学研究年報 第3号
2007.12

【調査報告】 廃食用油・油脂含有廃棄物を用いたコー
ジェネレーションシステム 単著
共生のシステム Vol.6 2008.3

【学会発表】 事業所用分散発電システムの近未来
第55回応用物理学関係連合講演会 ㊦日
本大学・船橋 2008.3

酸化セリウム系精密ガラス研磨材のリユ
ース・リサイクルシステム 第55回応
用物理学関係連合講演会 ㊦日本大学・
船橋 2008.3

島田 邦雄

【論 文】 Flow characteristics of ER fluid in the
model damper Hiroshi YAMAGUCHI,
Xinrong ZHANG and Daisuke INOUE
International Journal of Applied Electro-
magnetics in Materials Vol. 25, No. 1-4,
pp. 583-588, 2007.5

A heat conduction approach to a paral-
lel duct-type energy conversion device
utilizing a magnetic fluid International
Journal of Applied Electromagnetics in
Materials Vol. 25, No. 1-4, pp. 267-271,
2007.5

A new magnetic polishing liquid
(MPL) proposed for contact force-
free surface finishing: part 1, behaviour
under magnetic field and fundamental
performance in metal surface finishing
Yongbo WU, Kenji TETSUKA, Masana
KATO, and Yat Choy WONG International
Journal of Applied Electromagnet-
ics in Materials Vol. 25, No. 1-4, pp. 89-
94 2007.5

Polishing inner capillary walls by a mag-
netic compound fluid Hitoshi NISHIDA,
Makoto GOTO International Journal
of Applied Electromagnetics in Materials
Vol. 25, No. 1-4, pp. 25-29 2007.5

Vibration response of a silicon rubber
membrane containing a magnetic com-
pound fluid induced by an impulsive
magnetic field Yasushi IDO, Shin
ISHIDA International Journal of Ap-
plied Electromagnetics in Materials
Vol. 25, No. 1-4, pp. 151-155 2007.5

Possibility of utilizing MCF in viscous
damper of passive type Hideto
KANNO International Journal of Ap-
plied Electromagnetics in Materials
Vol. 25, No. 1-4, pp. 119-125 2007.5

Investigation of efficiency of a parallel
duct-type energy conversion device uti-
lizing a magnetic fluid Kunio SHIMADA
International Journal of Applied Electro-
magnetics in Materials Vol. 25, No. 1-4,
pp. 113-117 2007.5

MR fluid damper composed of different
size of particles Hideto KANNO, Junji
OGAWA International Journal of Ap-
plied Electromagnetics in Materials Vol. 25,
No. 1-4, pp. 109-112 2007.5

磁場に反応する新しい機能性流体を用い
たフロートポリシングの研究 松尾良
夫, 山本慶太 日本実験力学会誌
Vol. 7, No. 2, pp. 168-176 2007.6

Study on New Float Polishing with the
MCF, Yoshio MATSUO, Keita
YAMAMOTO and Yaoyang ZHENG
Journal of Achievements in Materials and
Manufacturing Engineering Vol. 23, No. 2,
pp. 91-94 2007.8

磁気混合流体(MCF) ゴムにおける電
子加熱用材料としての有用性に関する基
礎的研究 西村修次, 鄭耀陽 日本
実験力学会誌 Vol. 7, No. 3, pp. 25-31
2007.9

- 磁気機能性流体による管内面研磨に対する流体力学的考察 西田均, 後藤誠
日本実験力学会誌 Vol. 7, No.3, pp. 62-68 2007.9
- MCF 導電性ゴムを利用した触覚センサの試作に関する基礎研究 鄭耀陽
日本実験力学会誌 Vol. 7, No.3, pp. 32-37 2007.9
- 円形強磁性シリコンゴム膜-磁性流体連成系の交流磁場に対する振動特性 井門康司, 山田智哉 日本実験力学会誌 Vol. 7, No.3, pp. 45-50 2007.9
- 磁気機能性流体による細管内面研磨の提案と技術的検討 西田均, 後藤誠
日本実験力学会誌 Vol. 7, No.3, pp. 56-61 2007.9
- 水晶ウエハの薄片化加工における MCF (Magnetic Compound Fluid) 研磨工具の基本加工特性 呉勇波, 手塚賢治, 山本慶太 日本実験力学会誌 Vol. 7, No.3, pp. 19-24 2007.9
- A New Float-Polishing Technique with Large Clearance Utilizing Magnetic Compound Fluid Yoshio MATUO, Keita YAMAMOTO and Yongbo WU International Journal of Abrasive Technology 2007印刷中
- ハプティックロボットセンサの要素材料のための感温性と導電性を兼ね備えた MCF ゴムの開発 鄭耀陽 日本実験力学会誌 73巻, 735号, B編, pp. 2269-2274 2007.11
- Research on new float polishing technique with the magnetic compound fluid Yoshio MATSUO, Keita YAMAMOTO and Yaoyang ZHENG International Journal of Computational Materials Science and Surface Engineering Vol. 1, No. 5, pp. 594-606, 2007 2007.12
- MCF を用いたアクリル樹脂の表面処理 松尾良夫, 山本慶太 マグネティックス研究会資料 MAG-08-8, pp. 37-42 2008.1
- Fundamental performance of magnetic compound fluid polishing liquid in contact-free polishing of metal surface T. Furuya, Y. Wu, M. Nomura, K. Yamamoto Journal of Materials Processing Technology Vol. 201, pp. 536-541 2008.3
- Haptic sensor utilizing MCF rubber, Yaoyang ZHENG Proceedings of International Conference on Advanced Technology in Experimental Mechanics 2007 P-52 2007.9
- Influence of magnetic field distribution on inner tube walls polishing using magnetic compound fluid Hitoshi NISHIDA, Yasushi IDO, Proceedings of 13th International Symposium on Applied Electromagnetics and Mechanics pp. 195-196 2007.9
- Vibration properties of a coupled system of a magnetic fluid layer and a magnetic rubber membrane Yasushi IDO, Tomoya YAMADA Proceedings of 13th International Symposium on Applied Electromagnetics and Mechanics pp. 285-286 2007.9
- Temperature sensitive rubber utilizing MCF (magnetic compound fluid) Yaoyang ZHENG and Yasushi IDO Proceedings of 13th International Symposium on Applied Electromagnetics and Mechanics pp. 287-288 2007.9
- 【学会発表】** MCF ゴムの導電性特性 第19回電磁気力関連のダイナミックシンポジウム 図東京 2007.5
- Study on New Float Polishing with the MCF, International Conference on Achievements in Mechanical and Materials Engineering, 図ポーランド 2007.5
- High electric conduction sensitive rubber utilizing MCF (Magnetic compound fluid) 11th International Conference on Magnetic Fluids 図スロバキア 2007.7
- MCF ゴムの力学特性に関する研究 日本実験力学会2007年度年次講演会 図東京 2007.8
- 導電性ゴムの特性に関する研究 共著 日本機械学会2007年度年次大会 図吹田 2007.9
- Influence of magnetic field distribution on inner tube walls polishing using magnetic compound fluid 13th International Symposium on Applied Electromagnetics and Mechanics 図アメリカ 2007.9
- Vibration properties of a coupled system of a magnetic fluid layer and a magnetic rubber membrane, 13th International Symposium on Applied Electromagnetics and Mechanics 図アメリカ 2007.9
- Temperature sensitive rubber utilizing

MCF(magnetic compound fluid)
13th International Symposium on Applied
Electromagnetics and Mechanics ㊦ア
メリカ 2007.9

Haptic sensor utilizing MCF rubber
International Conference on Advanced
Technology in Experimental Mechanics
2007 ㊦福岡 2007.9

磁気混合流体を用いた管内面研磨におけ
る磁場分布と圧力分布の関係 磁性流
体連合講演会 ㊦名古屋 2007.12

強磁性シリコンゴム膜-磁性流体連成系
の印加磁場に対する応答特性 磁性流
体連合講演会 ㊦名古屋 2007.12

【特 許】 導電性複合材料およびその製造方法
島田邦雄, 高橋隆行, 小沢喜仁, 福田一
彦, Zheng Yaoyang, Jeong Song Hee
特許出願 PCT/JP2007/55107

立体カム機構 高橋隆行, 島田邦雄,
小沢喜仁, 福田一彦, Zheng Yaoyang,
Jeong Song Hee 特許出願2007-
144504

杉森 大助

【著 書】 各種手法による有機物の分解技術 共
著 (株)情報機構

【調査報告】 有機物循環システムの構築に関する調査
研究-第2章下水余剰汚泥の減量化およ
びバイオ燃料化技術の開発に関する調査
研究 平成19年度福島県受託事業・有
機物循環システムの構築に関する調査研
究報告書 2008.3

下水汚泥の減量化および燃料化技術の開
発 自然共生・再生研究: 共生のシス
テム 6 2008.3

【学会発表】 *Streptomyces griseocarneus* NBRC13471由
来スフィンゴミエリナーゼの精製とキャ
ラクタリゼーション, 遺伝子クローニン
グ 杉森大助・椎原美沙・劉曉麗酵素
工学研究会第58回講演会 ㊦東京大山上
会館 2007.10

下水汚泥の減量化およびバイオ燃料化技
術の開発 杉森大助・石川晋三・石川
大輔 第37回石油・石油化学討論会
㊦札幌コンベンションセンター
2007.10

Purification, characterization, and gene
cloning of sphingomyelinase C from
Streptomyces griseocarneus NBRC13471
Daisuke Sugimori Enzyme Engineer-
ing XIX ㊦Harrison Hot Springs, BC,
Canada 2007.9

Purification, characterization, and gene
cloning of sphingomyelinase C from
Streptomyces griseocarneus NBRC13471
Daisuke Sugimori The 13th Sym-
posium of Young Asian Biochemical En-
gineers' Community (YABEC2007)
㊦Korea University, Seoul, Korea

2007.10

金属イオンを指標物質とする酵素の定量
法-銅フタロシアニン結合型セルロース
を用いるセルラーゼのICP分析 小玉
賢志・古川真・杉森大助・佐藤理夫・高
貝慶隆 第69回分析化学討論会 ㊦名
古屋市国際会議場 2008.5

Streptomyces griseocarneus NBRC13471由
来スフィンゴミエリナーゼの精製と特徴
杉森大助・椎原美沙・劉曉麗 第6回
脂質工学研究部会 ㊦メルパルク京都
2008.2

Streptomyces griseocarneus NBRC13471由
来スフィンゴミエリナーゼの精製と諸性
質 杉森大助・椎原美沙・劉 曉麗日
本農芸化学会2008年度大会 ㊦名城大
2008.3

銅フタロシアニン結合型セルロースの分
解反応に基づくセルラーゼ酵素のICP
発光分光分析 小玉賢志, 古川真, 杉
森大助, 佐藤理夫, 高貝慶隆, 日本
分析化学会東北支部「みちのく分析科学
シンポジウム」 2008.7

高貝 慶隆

【論 文】 Adsorption behaviors of the high-valence
metal ions on desferrioxamine B immo-
bilization nylon 6,6 chelate fiber under
highly acidic condition Y.Takagai, A.
Takahashi, H.Yamaguchi, T.Kubota,
S.Igarashi Journal of Colloid and In-
terface Sciences 313巻 2007.9

【学会発表】 少量サンプルの効率的濃縮システムの開
発と多環芳香族化合物の蛍光検出-
HPLC 第68回 日本分析化学討論会
㊦宇都宮 2007.5

Coupling Preconcentration System for
Polycyclic Aromatic Hydrocarbons prior
to High Performance Liquid Chromatog-
raphy with Fluorescence Detector
31st International Symposium on High
Performance Liquid Phase Separations
and Related Techniques ㊦ベルギー・
アントワープ 2007.6

濃縮分離のトータルダウンサイジングと変
異原性物質の迅速分析 第1回みちのく
分析科学シンポジウム ㊦仙台 2007.7

Preconcentration Coupling System for Chromatographic Techniques and Its Application to Environmental Pollutants
Asia Young Analytical Chemist Session
2007 関千葉 2007.8

入戸野 修

【著 書】 材料科学への招待「新しい視点に立って」 共著(編者) 7刷発行 培風館 2008.3

材料の科学と工学1—材料の微細構造
共著(編者) 4刷発行 培風館 2007.9

材料の科学と工学2—金属材料の力学的性質 共著(編者) 4刷発行 培風館 2007.9

材料の科学と工学3—材料の物理的・化学的性質 共著(編者) 4刷発行 培風館 2007.9

「表面処理技術」(材料の科学と工学の基礎) 単著 県北技塾テキスト 2007.11

【論 文】 Angle-resolved analysis of magnetic hysteresis for micro-magnetic clusters with local deformations K.Yamaguchi, K.Suzuki, O.Nitto, T.Takagi & K.Yamada Physica B,, 403 354—359 2008

【学会発表】 局所変形磁気クラスターの磁化過程モンテカルロシミュレーション 山口克彦, 鈴木健司, 入戸野修, 高木敏行, 山田興治 第31回日本応用磁気学会学術講演会 関東京 2007.9

磁気光学効果を用いた Fe スパッタ薄膜の動的磁化測定 尾澤喜絵, 山口克彦, 入戸野修 第31回日本応用磁気学会学術講演会 関東京 2007.9

生命・環境学系

石田 葉月

【著 書】 持続型社会は近づいたか 単著 日本経済評論社

市井 和仁

【論 文】 Evaluation of snow models in terrestrial biosphere models using ground observation and satellite data: Impact on terrestrial ecosystem processes Ichii K., White M.A., Votava P., Michaelis A., Nemani R.R. Hydrological Processes 22, 347—355 2008.1

Developing a continental-scale measure

of gross primary production by combining MODIS and AmeriFlux data through Support Vector Machine approach Yang F., Ichii K., White M.A., Hashimoto H., Michaelis A.R., Votava P., Zhu A.X., Huete A.R., Running S.W., Nemani R.R. Remote Sensing of Environment 110, 109—122 2007.9

【学会発表】 Objective refinements to a diagnostic terrestrial biosphere model using satellite data: North America carbon and water cycle simulations AGU Fall Meeting 関San Francisco 2007.12

地上観測・衛星データ・陸域生物圏モデルの統合解析: 観測データの空間的スケールアップとモデル改善のための解析例 長期生態系モニタリングの現状と課題—温暖化影響と生態系応答 関つくば 2007.11

地上観測・衛星データ・陸域生物圏モデルの統合解析: 観測データの空間的スケールアップとモデル改善のための解析例 地上観測・衛星観測・モデル結合による陸域炭素循環・水循環研究の展開 関つくば 2007.8

陸域生物圏モデルの階層的な改善手法の検討: 衛星データの利用 第3回東海地区リモートセンシング研究集会 関岐阜 2007.6

稲森 悠平

【著 書】 生態修復技術と管理指針 共著 科学出版社(中国)

排水・汚水処理技術集成 共著 エヌ・ティー・エス

【論 文】 Detection of Defluvicoccus-related Glycogen-accumulating Organisms in Enhanced Biological Phosphorus Removal Processes T.Kondo, Y.Ebie, S.Tsuneda Microbes and Environments 22 (2) 2007

Analysis of the Characteristics of CH₄ and N₂O Emission in the Bench-scale Lagoon System T.Kuwabara, Y.Kimochi, K-Q Xu, M.Matsumura Japanese Journal of Water Treatment Biology 43 (2) 2007

Stability and dynamical behavior in a lake-model and implications for regime shifts in real lakes T.Amemiya, T.Enomoto, A.G.Rossberg, T.Yamamoto, K.Itoh Ecological Modelling 206 (1—2) 2007

- Analysis of the Characteristics of CH₄ and N₂O Emission in the Bench-scale Lagoon System T.Kuwabara,Y.Kimochi,K-Q Xu,M.Matsumura Japanese Journal of Water Treatment Biology 43 (2) 2007
- Evaluation of the Role of the Aquatic Plants in Floating Type Edible Aquatic Plant Purification System T.Kuwabara, M.Matsumura, N.Hayashi, K-Q Xu Japanese Journal of Water Treatment Biology 43 (2) 2007
- Degradation of the Cyanobacterial Hepatotoxin Microcystin by Bacteria Isolated from a Monoxenic Culture of the Flagellate *Monas guttula* N.Fujimoto,N.Ohno,K.Tanaka,I.Narahara,A.Ohnishi,M.Suzuki,N.Iwami,M.Mizuochi Japanese Journal of Water Treatment Biology 43 (2) 2007
- 水生植物群落が浮遊微生物現存量に及ぼす影響 林紀男、中野芳雄、尾崎保夫 日本水処理生物学会誌 43 (2) 2007
- Analysis of the Relationship between Ammonia Oxidizing Bacterial Populations and Nitrification Efficiency in Full-Scale Advanced Johkasou Using Different Structured Carriers by Real-Time PCR G.Nakagawa,Y.Ebie,S.Tsuneda,M.Matsumura,K-Q Xu Japanese Journal of Water Treatment Biology 43 (3) 2007
- Nitrification of landfill leachate using immobilized nitrifying bacteria at low temperatures K.Isaka,S.Yoshie,T.Sumino,S.Tsuneda Biochemical Engineering Journal 37 2007
- 細菌による溶存態有機物分解に及ぼす繊毛虫の影響 田中伸幸、国安祐子、板山朋聡 日本水処理生物学会誌 43 (4) 2007
- Use of real-time PCR to examine the relationship between ammonia oxidizing bacterial populations and nitrogen removal efficiency in a small decentralized treatment system 'Johkasou' G.Nakagawa,Y.Ebie,S.Tsuneda,M.Matsumura Wat.Sci.and Technol. 55 (7) 2007
- Influence of plant species and wastewater strength on constructed wetland methane emissions and associated microbial populations Y-H Wang,R.Inamori,H-N Kong,K-Q Xu,T.Kondo,J-X Zhang Ecological Engineering 32 2008
- Nitrous oxide emission from polyculture constructed wetlands:Effect of plant species Y-H Wang,R.Inamori,H-N Kong,K-Q Xu,T.Kondo,J-X Zhang Environmental pollution 152 2008
- 【調査報告】 中国の水環境の現状と汚水処理事業の進展 徐開欽、稲森隆平 用水と廃水 49 (5) 2007
- 環境農業直接支払制度を具体化した「環境こだわり農業」による水環境保全 徐開欽、稲森隆平 用水と廃水 49 (6) 2007
- 生物処理における資源化微生物、月刊食品工場長 稲森隆平、孔海南 月刊食品工場長 (120) 2007
- 生物処理における障害生物の制御(前編) 稲森隆平、孔海南 月刊食品工場長 (121) 2007
- 生物処理における障害生物の制御(後編) 稲森隆平、孔海南 月刊食品工場長 (122) 2007
- 生物処理におけるバルキング原因糸状微生物の制御(前編) 稲森隆平、孔海南 月刊食品工場長 (123) 2007
- 生物処理におけるバルキング原因糸状微生物の制御(後編) 稲森隆平、孔海南 月刊食品工場長 (124) 2007
- バイオ・エコ技術を活用した中国への水環境再生保全戦略 稲森隆平、虻江美孝、徐開欽 月刊下水道 30 (11) 2007
- 生物処理における微生物付着法(前編) 稲森隆平、孔海南 月刊食品工場長 (125) 2007
- 生物処理における微生物付着法(後編) 稲森隆平、孔海南 月刊食品工場長 (126) 2007
- 国立環境研究所における環境保全再生研究を振り返って CROSSつくば (27) 2007
- 生物処理における包括固定化法 稲森隆平、孔海南 月刊食品工場長 (127) 2007
- リン回収技術の現状と将来展望 虻江美孝、近藤貴志、徐開欽、常田聡 再生と利用 30 (117) 2007
- 深刻さ増す中国のアオコ問題：対策に本格的取組み―「第7回江蘇科学技術フォーラム」に参加して― 徐開欽、須藤隆一 用水と廃水 49 (12) 2007

生物処理における微生物自己造粒法（前編） 稲森隆平、孔海南 月刊食品工場長 (128) 2007

BIO・ECO SYSTEM を活用した我が国の対策を踏まえた中国における水環境保全再生戦略（1） 徐開欽、稲森隆平、虻江美孝、須藤隆一 水 50 2008

生物処理における微生物自己造粒法（後編） 稲森隆平、孔海南 月刊食品工場長 (129) 2008

バイオエコシステムを導入した高度処理による水環境保全再生 稲森隆平、徐開欽、虻江美孝 水 新年増刊号 2008

BIO・ECO SYSTEM を活用した我が国の対策を踏まえた中国における水環境保全再生戦略（2） 徐開欽、稲森隆平、虻江美孝、須藤隆一 水 50 2008

マイクロコズムによる外来微生物の影響評価 稲森隆平、孔海南 月刊食品工場長 (130) 2008

有機性排水処理で働く細菌の分離法 稲森隆平、孔海南 月刊食品工場長 (131) 2008

重金属メチル水銀・鉛の健康・発達影響用水と廃水 49 (4) 2007

地球規模の新興感染症による生態系への影響 用水と廃水 49 (5) 2007

水産資源の再生 用水と廃水 49 (6) 2007

ゲンジボタルの餌起因の外来貝類 用水と廃水 49 (7) 2007

熱帯植物種子由来の凝集剤 用水と廃水 49 (8) 2007

下水道における地球温暖化・省エネルギー対策 用水と廃水 49 (9) 2007

海水マグネシア系土壌硬化剤 用水と廃水 49 (10) 2007

水源の再生と排水処理技術 用水と廃水 49 (11) 2007

カエルツボカビ症の新検出法 用水と廃水 49 (12) 2007

気候変動と日本海のモニタリング 用水と廃水 50 (1) 2008

青潮の原因となる無酸素水塊 用水と廃水 50 (2) 2008

病原微生物の制御法 用水と廃水 50 (3) 2008

【学会発表】 New Probes and Autofluorescence Observation that Distinguish each Subgroup of Deffluvicoccus-Relative G-Bacteria in a Wastewater Treatment Process American Society for Microbiology General 107th Meeting ㊦Toronto 2007.5

Identification of Bacterial Population Involved in the Methane Oxidation-Coupled Nitrate Depletion under Oxygen-Limited Conditions by Using Stable-Isotope Probing American Society for Microbiology General 107th Meeting ㊦Toronto 2007.5

Evaluation of constructed wetland system with multiple aquatic plant International Conference on Multi Functions of Wetland Systems ㊦Padova 2007.6

Present Conditions of Water Resources and the Trends of Preservation Restoration Counter-measures Symposium on Water Pollution Control and Restoration Techniques of Lake Dianchi and International Symposium on Eutrophication Control and Management of Lake Erhai ㊦大理 2007.8

Countermeasures on Eutrophication and Global Warming using Aquatic plant Symposium on Water Pollution Control and Restoration Techniques of Lake Dianchi and International Symposium on Eutrophication Control and Management of Lake Erhai ㊦大理 2007.8

A Two-Stage Process for High-Rate Hydrogen and Methane Production from Food Waste 11th World Congress on Anaerobic Digestion ㊦Brisbane 2007.9

Slanted Soil Chamber Systems as a Decentralized Gray Water Treatment The 5th International Symposium on Sustainable Sanitation ㊦Tokyo 2007.9

Effects of Operational Conditions on the Performance of Gray Water Treatment by Slanted Soil Chamber System The 5th International Symposium on Sustainable Sanitation ㊦Tokyo 2007.9

生活排水対策としての浄化槽の高度化のための解析評価 第10回日本水環境学会シンポジウム ㊦熊本 2007.9

生活排水に由来するリンの回収・資源化 第10回日本水環境学会シンポジウム ㊦熊本 2007.9

- 生ごみ破碎バイオマス処理派生汚泥の特性と資源化 第10回日本水環境学会シンポジウム 函熊本 2007.9
- 地球温暖化・富栄養化対策のための水・物質循環のあり方 第10回日本水環境学会シンポジウム 函熊本 2007.9
- 水処理プロセスにおける除去・廃棄から回収・資源化へのパラダイムシフト 化学工学会第39回秋季大会 函札幌 2007.9
- リン資源回収型栄養塩類除去プロセスにおける微生物叢と処理性能の関係解析 化学工学会第39回秋季大会 函札幌 2007.9
- 中国における藍藻類水の華予防対策・湖沼保全とBIO・ECO SYSTEMによる再生 中国江蘇省科学技術 FORUM 函南京 2007.9
- Characterization of the Microbial Community in the Anaerobic/Oxic/Anoxic process without excess sludge production 2nd IWA ASPIRE 函Perth 2007.11
- 人工湿地における水生植物の水質浄化機能と温室効果ガス発生機構への影響解析 日本水処理生物学会第44回大会 函富山 2007.11
- 有機性排水対策としての傾斜土槽法における原水性状と浄化効果の関係解析評価 日本水処理生物学会第44回大会 函富山 2007.11
- 生活排水の鉄電解法導入高度処理浄化槽の発生汚泥のリン含有および回収特性の解析 日本水処理生物学会第44回大会 函富山 2007.11
- 水素・メタン発酵プロセスの効率化を目指した低水素分圧条件下での乳酸発酵抑制効果の解析 日本水処理生物学会第44回大会 函富山 2007.11
- ディスポーザ導入型排水処理システムにおける有機炭素成分に着目した生物処理機能解析 日本水処理生物学会第44回大会 函富山 2007.11
- ディスポーザ排水処理システムにおける有機物負荷と汚泥特性との関係解析 日本水処理生物学会第44回大会 函富山 2007.11
- 有機系排水流入時における anammox 反応場の処理性能および細菌群衆構造の変化 日本水処理生物学会第44回大会 函富山 2007.11
- 沈水植物の浄化・成長特性に及ぼす環境因子の影響解析 日本水処理生物学会第44回大会 函富山 2007.11
- Strategy on Preservation and Restoration of East Asian Lakes for Eco-Sound Water Environment Establishment 7th Workshop on TEMM agreed Fresh Water (Lakes and Marshes) Pollution Control Project 函Toyama 2007.11
- Comparison of Different Typical Constructed Wetlands on Domestic Wastewater Treatment under Low C/N Ratio Loading and Their Potential GHG Emissions 7th Workshop on TEMM agreed Fresh Water (Lakes and Marshes) Pollution Control Project 函Toyama 2007.11
- Functional analysis in decentralized domestic wastewater treatment system "Johkasou" for prevention eutrophication 7th Workshop on TEMM agreed Fresh Water (Lakes and Marshes) Pollution Control Project 函Toyama 2007.11
- Field and lab experiment of slanted soil chamber system as a decentralized gray water treatment The 5th International Symposium on Southeast Asian Water Environment 函Chiang Mai 2007.11
- Effects of circulation ratio in domestic wastewater and disposer wastewater treatment Johkasou 8th IWA Specialized Conference on Small Water and Wastewater Systems (SWWS) and 2nd IWA Specialized Conference on Decentralized Water and Wastewater International Network (DEWSIN) 函Coimbatore 2008.2
- Recovery Oriented Phosphorus Adsorption Process in Decentralized Advanced Johkasou 8th IWA Specialized Conference on Small Water and Wastewater Systems (SWWS) and 2nd IWA Specialized Conference on Decentralized Water and Wastewater International Network (DEWSIN) 函Coimbatore 2008.2
- Treatment Characteristics of Domestic Wastewater by Four Different Constructed Wetlands and Its Emissions of Greenhouse Gases 第42回日本水環境学会年会 函名古屋 2008.3
- フロート式水耕栽培浄化システムの機能と水質改善効果の解析 第42回日本水環境学会年会 函名古屋 2008.3

On-Site 型リン除去・回収プロセスを用いたリン資源回収システムの最適化
第42回日本水環境学会年会 匿名古屋
2008.3

ガス曝気システムを組み込んだ水素・メタン発酵システムの処理影響解析 第42回日本水環境学会年会 匿名古屋
2008.3

沈水植物の存在の有無のサヤミドロの発生特性およびモノアラガイによる捕食分解能解析 第42回日本水環境学会年会 匿名古屋
2008.3

ディスポーザ排水の有機炭素成分を指標とした生物処理機能解析 第42回日本水環境学会年会 匿名古屋
2008.3

ディスポーザ排水と生活排水の生物可溶化・資化特性比較解析 第42回日本水環境学会年会 匿名古屋
2008.3

鉄電解脱リン法を導入した高度処理浄化槽における発生污泥からのリン回収特性
第42回日本水環境学会年会 匿名古屋
2008.3

高濃度事業場系排水を対象としたメタン発酵・窒素除去効率化のための適正条件の解析 第42回日本水環境学会年会 匿名古屋
2008.3

実家庭に設置した傾斜土槽法の生活雑排水の処理性能解析 第42回日本水環境学会年会 匿名古屋
2008.3

ステップ流入方式を導入した傾斜土槽法における生活雑排水の処理特性 第42回日本水環境学会年会 匿名古屋
2008.3

フロート式水耕栽培浄化法における植物体・根圏生長特性と浄化効果の関係解析
第42回日本水環境学会年会 匿名古屋
2008.3

抽水植物が人工湿地の水質浄化および温室効果ガス発生機構に及ぼす影響 第42回日本水環境学会年会 匿名古屋
2008.3

水処理システムの微小動物群集構造の18SrRNA遺伝子を指標とした解析 第42回日本水環境学会年会 匿名古屋
2008.3

木村 吉幸

- 【論文】 福島県域尾瀬におけるニホンジカ越冬状況について—平成17年度調査結果—
内藤俊彦 福島生物 第50号 2007.8
- 群馬県域尾瀬におけるニホンジカの植生攪乱—平成18年8月の調査結果— 内

藤俊彦・内藤俊茂 福島生物 第50号
2007.8

【調査報告】 尾瀬地域におけるニホンジカの植生攪乱状況—平成19年(2007)の調査報告—
内藤俊彦 尾瀬の保護と復元 第28号
2008.3

尾瀬地域の両生・爬虫類 菅原宏理・内藤俊彦 尾瀬の保護と復元 第28号
2008.3

黒沢 高秀

【著書】 Flora of Mustang, Nepal. 共著(分担執筆) Kodansha Scientific Ltd.
2008.5

【調査報告】 地域の植物保全の科学 単著 福島の進路 296号
2007.4

福島県の維管束植物相の研究の現状と課題 単著 福島生物 50号 2007.8

尾瀬国立公園の自生維管束植物チェックリスト 単著 福島大学地域創造 19巻
2007.9

植物資料収集とデータベース化から見えてきた福島県内の水域生態系の変遷 (3) 裏磐梯の水生・湿地生植物: 38—43 黒沢高秀・安斎(渡辺)智美・渡辺優樹・佐久間美幸・細島尚子 共生のシステム 6号
2008.3

福島市小鳥の森の植生～開設時からの植生の変化と鳥類の生息状況分析の試み～
阿部香・黒沢高秀・鈴木弘之 福島大学特定研究 [自然と人間] 研究報告 7号
2008.3

鏡の山や周回道路沿いの森林生・草地生植物, 湖岸と松虫の原の湿地生植物
単著 南湖のいきもの植物編 2008.3

松川浦生物おもしろ話, 松川浦生物図鑑
植物 単著 まるごと松川浦
2008.3

南湖の植物II, 福島大学・県南建設事務所共同研究「[南湖公園保全・利活用計画] 策定における基礎資料作成」報告書 福島大学共生システム理工学類生物多様性保全研究室・南湖植物研究グループ, 福島
2007.3

【訳書・翻訳】 国際植物命名規約(ウィーン規約)2006 日本語版 共訳 日本植物分類学会
2007.11

【学会発表】 クマガイソウ(ラン科)の繁殖生態と保全 黒沢高秀・伊東英恵・稲田晴菜・清原一樹 日本植物学会第71回大会 圏東京理科大学
2007.9

「侵略的外来生物問題基礎知識」「水辺の侵略的外来植物問題と駆除の試み」

黒沢高秀 日本生態学会東北地区会第52回大会公開シンポジウム東北地方の侵略的外来生物問題 —その被害と対策— 関福島大学 2007.11

裏磐梯曾原湖…外来生物で在来生物相が壊滅した湖 細島尚子・佐久間美幸・渡辺優樹・安斎(渡辺)智美・黒沢高秀 日本生態学会東北地区会第52回大会公開シンポジウム東北地方の侵略的外来生物問題 —その被害と対策— 関福島大学 2007.11

クマガイソウ(ラン科)の生活史と好適環境. 黒沢高秀・伊東英恵・稲田晴奈・清原一樹 日本生態学会東北地区会第52回大会 関福島大学 2007.11

国史跡名勝南湖の植物の年代変化と消滅した植物復元の試み 黒沢高秀・中野晋太・藤田正明 日本植物学会東北支部会第20回大会 関秋田県立大学 2007.12

福島市笹森山におけるクマガイソウのマルハナバチによる訪花頻度,送粉頻度,および結実率 黒沢高秀・伊東英恵 第3回国際シンポジウム・アジアのランの多様性と保全 関国立科学博物館筑波実験植物園 2007.12

クマガイソウ(ラン科)の保全に必要な環境は? 黒沢高秀・伊東英恵・稲田晴奈・清原一樹 第3回国際シンポジウム・アジアのランの多様性と保全 関国立科学博物館筑波実験植物園 2007.12

国史跡名勝南湖(福島県白河市)の植物相の変化と消滅した植物復元の取り組み 黒沢高秀・中野晋太・藤田正明・岡千照 日本植物分類学会第7回大会 関首都大学東京 2008.3

後藤 忍

【論文】阿武隈川流域における仮想集水域指標による評価 共生のシステム vol.6 2008.3

【調査報告】木質バイオマスの環境教育における利活用について 木質バイオマスの環境教育における利活用に関する報告書 2008.3

小山 純正

【論文】Acupuncture stimulation to the sacral segment affects the state of vigilance in rats. Hui Wang, Yoshiyuki Tanaka, Eich Jodo, Yukihiko Kayama, Akihiro

Kawauchi, Tsuneharu Miki, Manabu Otsuki, Neurosci. Res 57 2007.4

脳幹網様体賦活系の各種神経細胞と覚醒機構 高橋和巳 Clinical Neuroscience 25・4 2007.4

睡眠学研究および睡眠医療の重要性と福島県の状況 香山雪彦, 高橋和巳, 福田一彦, 浅岡章一, 大槻学 福島県保健衛生雑誌 17・1 2007.9

過眠症の脳内機序 高橋和巳, 高草木薫 睡眠医療 2・2 2008.1

【学会発表】Hypothalamic regulation of muscular tonus -involvement of orexinergic and GABAergic neurons The 2nd international symposium on Mobiligence in Awaji 関淡路島 2007.7

歩行及び筋緊張調節機構に対するオレキシン入力役割 第1回 Motor Control 研究会 関岡崎市 2007.7

Regulation of muscular tonus through hypocretinergic and GABAergic systems 5th congress of the World Federation of Sleep Research and Sleep Medicine Societies, Program 関ケアンズ(オーストラリア) 2007.9

A temporal sequence of activity changes among wake- and sleep-promoting neurons in the brainstem and posterior hypothalamus in mice. 5th congress of the World Federation of Sleep Research and Sleep Medicine Societies, Program 関ケアンズ(オーストラリア) 2007.9

尿のマイナートラブルを見過ごしていませんか? 基礎から鍼灸臨床まで—鍼灸師が知っておきたい知識と技術? 基礎医学の立場から 第9回(社)全日本鍼灸学会近畿支部指定講習会 関高槻市 2007.9

Neuronal activity in the paraventricular nucleus during penile erection in unanesthetized rats 第30回日本神経科学大会 関横浜市 2007.9

マウスの覚醒ニューロン、睡眠ニューロンが示す睡眠・覚醒移行期における活動変化の順序 第30回日本神経科学大会 関横浜市 2007.9

睡眠・覚醒の移行期において脳幹及び視床下部のニューロンが示す活動変化の順序 第40回東北生理談話会, 仙台 関仙台市 2007.10

REM睡眠中の血圧変動に対する視床下部と脳幹の役割 日本睡眠学会第32回定

- 期学術集会 圏東京 2007.11
- 鍼刺激と睡眠 全日本鍼灸学会 福島
地方会 圏福島市 2007.11
- 結節乳頭核ヒスタミンニューロン活動が
覚醒状態の発現に果たす役割 第11回
日本ヒスタミン学会 圏富山市
2007.12
- 脳幹の筋トーン調節系に対する神経性
入力について 特定領域研究(移動
知)班会議「身体・脳・環境の相互作用
による適応的運動機能の発現—移動知の
構成論的理解—」 圏松島町 2008.3

鈴木 浩

- 【著 書】 ベトナムの住宅事情 共 日本建築
学会建築経済委員会・住宅の地方性小委
員会・単行本
- 【論 文】 東北におけるコンパクトシティのあり方
と地域循環型経済システム構築の方向
単 日刊建設産業新聞 2007.8
- 人口減少・高齢社会のまちづくりで求め
られるシニア向け居住空間 単
『月刊シニアビジネスマーケット』 第
37号 2007.8
- ベトナムの住宅事情 単 日本住宅
会議『住宅会議』 第72号 2008.2
- 【学会発表】 住生活基本計画および地域住宅計画の策
定事例にみる特徴と課題—福島県の場合
三宅醇、眞嶋二郎 日本建築学会
圏福岡大学 2007.8

千葉 養伍

- 【学会発表】 アケビ果皮中の新規オリゴ糖の単離と構
造解析 日本応用糖質科学会 圏藤沢
市 2007.8

塘 忠顕

- 【論 文】 Structure of the ovary and "nurse cells"
in a freshwater ostracod, *Cyprinotus ue-
noi* Brehm (Podocopida: Cypridoidea)
K.Ikuta, F.Maruo, T.Makioka Zoological
Science 24 (9) 2007.9
- Ultrastructure and formation of ball-
shaped structures in the oocytes of
phlaeothripine thrips *Bagnalliella yuccae*
(Insecta: Thysanoptera) A.Nagashima
Proceedings of Arthropodan Embryologi-
cal Society of Japan 42 2008.3
- 【調査報告】 阿武隈川水系摺上川ダム直下流域におけ
る底生動物相—2007年の調査結果から—
共生のシステム 6,44—53 2008.3
- 福島県中通り地方北部(福島市,二本松
市,大玉村)のゲンゴロウ相(昆虫綱:

鞘翅目) 中西さやか 福島生物
(50),61—6 2007.8

卵が語る昆虫の環境適応と進化 福島
の進路 (297),33—36 2007.5

ふくしま県民の森の水生昆虫相—フォレ
ストパークあだたら内の3水系と人工
池,及び杉田川に生息する水生昆虫—
山口咲恵,嘉納裕輔 福島大学プロ
ジェクト研究[自然と人間] (7),
5—16 2008.3

ふくしま県民の森[フォレストパークあ
だたら]の蝶相 山口咲恵 福島大
学プロジェクト研究[自然と人間]
(7),17—22 2008.3

ふくしま県民の森[フォレストパークあ
だたら]のアザミウマ相—秋季の調査で
記録されたアザミウマ類(昆虫綱:総翅
目)— 吉澤領 福島大学プロジェ
クト研究[自然と人間] (7),23—28
2008.3

【学会発表】 "Paraneoptera": a comparison of ovarian
structures 日本節足動物発生学会第4
3回大会 圏筑波大学 2007.7

ユッカクダアザミウマ(総翅目・クダア
ザミウマ亜科)の卵形成について 長
島歩美 日本昆虫学会第67回大会
圏神戸大学 2007.9

長橋 良隆

【論 文】 Stratigraphy of the Pliocene to Lower
Pleistocene marine formations in Japan
on the basis of tephra layer correlation
Nagahashi, Y. and Satoguchi, Y. The
Quaternary Research (Daiyonki-Kenkyu)
46・3 2007.6

長野県,高野層ボーリングコア(TKN—
2004)に挟む広域テフラ層の層序と
編年 長橋良隆・佐藤孝子・竹下欣宏
・田原敬治・公文富士夫 第四紀研究
46・4 2007.8

Origin of a voluminous iron-riched high-
K rhyolite magma erupted in the North
Japan Alps at 1.75 Ma: Evidence for
upper crustal melting Kimura J. and Na-
gahashi Y. Journal of Volcanology and
Geothermal Research 167 2007

蛍光X線分析におけるガラスビード法と
粉末プレス法との比較評価 高瀬つぎ
子・長橋良隆 福島大学地域創造 19
・1 2007.9

伝九郎用水口付近に露出する足跡化石を
埋めるスコリアの岩石学的特徴 野尻
湖火山灰グループ・野尻湖地質グループ

- 野尻湖ナウマンゾウ博物館研究報告 16
2008.3
- 【学会発表】** 陸域と海域をむすぶ対比のツールとしての
の広域テフラ層 日本地質学会 函
札幌 2007.9
- 近畿地方の第四紀テフラ層序に基づく大
規模爆発的噴火の頻度 日本地質学会
函札幌 2007.9
- 日本列島周辺の最終間氷期の環境変動？
陸域と海域の比較と統合— 日本地質
学会 函札幌 2007.9
- 男鹿半島北浦層の火山灰層序について
共著 日本地質学会 函札幌 2007.9
- 日本テフラデータベース (J-Tephra) の
構築 日本第四紀学会 函神戸
2007.8
- 後期新生代、東北本州弧における大規模
珪長質マグマ組成の時空変遷 日本鉱
物科学会 函東京 2007.9
- 永幡 幸司**
- 【論 文】** Acoustic environmental problems at tem-
porary shelters for victims of the Mid-
Niigata Earthquake Koji Nagahata,
Norio Suzuki, Megumi Sakamoto, Fumi-
nori Tanba, Shin-ya Kaneko, Tetsuhito
Fukushima, Acoustic Science and
Technology 29 (1) 2008.1
- Acoustic environment problems at tem-
porary houses for victims of the Mid-
Niigata Earthquake Koji Nagahata,
Norio Suzuki, Megumi Sakamoto,
Fuminori Tanba, Shin-ya Kaneko, Tet-
suhito Fukushima Proc.The 2nd In-
ternational Symposium on Design of Ar-
tificial Environments 2007.11
- The effect of BGM from shops on the
adequate sound levels for acoustic-sings
for visually impaired, Katsuya Yamauchi,
Koji Nagahata, Mari Ueda, Shin-ichiro Iwa-
miya Proc.The 2nd International Sym-
posium on Design of Artificial Environ-
ments 2007.11
- On the relationship between acoustic en-
vironment problems at temporary shel-
ters and stressful experiences: the Mid-
Niigata Earthquake Koji Nagahata,
Norio Suzuki, Megumi Sakamoto, Fumi-
nori Tanba, Shin-ya Kaneko, Hideyuki
Kanda, Tetsuhito Fukushima Proc.in-
ter-noise 2007 2007.8
- 【調査報告】** 視覚障害者が考える街頭宣伝放送の適切
な音量について 上田麻里, 永幡幸
司, 山内勝也 日本騒音制御工学会研
究発表会講演論文集 2007.9
- 育児中の母親は選挙時の街宣車放送をど
のように聞いているか 有永由子, 永
幡幸司 日本音響学会騒音・振動研究
会資料 N-2008-20 2008.3
- 【学会発表】** 音環境の政治的正しさについて—音環境
のバリアフリーをめぐる— 日本音
響学会春季研究発表会 函習志野
2008.3
- Acoustic environment problems at tem-
porary houses for victims of the Mid-
Niigata Earthquake The 2nd Interna-
tional Symposium on Design of Artificial
Environments 函Fukuoka 2007.11
- On the relationship between acoustic en-
vironment problems at temporary shel-
ters and stressful experiences: the Mid-
Niigata Earthquake inter-noise 2007
函Istanbul 2008.8
- 震災避難所における音の問題とストレス
の関係—新潟県中越地震の避難所におけ
る音の問題について (3)— 日本音
響学会秋季研究発表会 函甲府 2007.8
- 中村 泰久**
- 【著 書】** 「天文学大事典」項目：「連星」, 「近接
連星 (系)」, 「食連星」, 「ロッシュロー
プ【連星の】」, その他 共著 地人
書館 2007.6
- 【論 文】** A Photometric Analysis of the Close Bi-
nary System EG Cephei NAKAMURA
Yasuhisa, SAWADA Chihiro and SUGI-
MOTO Yoshiaki Bull.Fac.Human De-
velopment & Culture Fukushima Univ.
No.6, pp.7-16 2007.12
- 【学会発表】** W UMa 型接触連星 UY UMa の測光解
析 加藤 篤, 吉田加奈子, 中村泰
久, 伊藤芳春 日本天文学会2007年秋
季年会 函岐阜大学 2007.9
- 食連星の周期変化 O-C 図に現れるある特
徴の解釈について 加藤篤, 中村泰久
日本天文学会2008年春季年会 函Olym-
pic 記念青少年総合センター 2008.3
- 『月』の学び再考 —『月の満ち欠け』
の小学校理科での取り扱いについて考え
る— 佐藤満美子, 加藤篤, 中村泰久
日本理科教育学会第47回東北支部大会
函岩手大学 2007.11
- “元素の起源と分布”をどう学んでくる
のか—学校理科, 教科書等での扱い—
中村泰久, 遠藤絢香, 小瀧拓也, 杉田一
馬 日本理科教育学会第47回東北支部

- 大会 関岩手大学 2007.11 (1), p225 2007.3
- 渡邊 明**
 【著 書】 気候が変わる 単 歴史春秋社 2007.11
 【論 文】 東北地方の局地風 単 日本気象学会東北支部創立50周年記念論文集 2007.6
 東北地方の2006年冬季の降雪特性 単 東北の雪と生活 Vol.22 2007.10
 福島県における降雹災害 単 東北地域災害科学研究 Vol.44 2008.3
 数値モデルによる降雹予測について 単 東北の農業気象学 Vol.52 2008.3
- 【調査報告】** 高精度1km降水量データ作成手法の開発 単 共生のシステム Vol.6 2008.3
 雨水によるイオン降下量と河川水への負荷の推定 単 共生のシステム Vol.6 2008.3
- 【学会発表】** 東北地方の2006年冬季の降雪特性 単 日本雪氷学会東北支部 関秋田 2007.5
 2次元降水量測定の精度向上のためのX-band radar観測 日本気象学会 関東京 2007.5
 梅雨前線に伴うバンド状降水システムの構造 日本気象学会 関札幌 2007.10
 数値モデルを用いた降雹予測について 日本農業気象学会東北支部 関福島 2007.11
 X-band radarによる2006年梅雨観測 日本気象学会東北支部 関仙台 2007.11
 福島県における降雹災害 日本自然災害学会東北支部 関八戸 2008.1
- 渡辺 英綱**
 【論 文】 Influence of Loxoprofen Use on Recovery from Naturally Acquired Upper Respiratory Tract Infections: A Randomized Controlled Trial Masashi Goto, Takashi Kawamura, Takuro Shimbo, Osamu Takahashi, Masahiro Ando, Koichi Miyaki, Takahiko Nohara, Hidetsuna Watanabe, Isamu Suzuki, Mitsuru Aono and for the Great Cold Investigators-II Internal Medicine Vol.46, P1179-1186 2007.8
 体温と生活習慣および各種罹患率との関係 渡辺英綱、渡辺厚、酒井コウ、川上敦子 CAMPUS HEALTH 44
- 高血圧性腎障害における安静時血漿レニン活性、アルドステロン濃度の関与 渡辺英綱、重富秀一、加藤哲夫、渡辺毅 日腎会誌 49 (3) AbsNo, P-131, p252 2007
 精油の抗肥満効果—肥満と心の関係に着目したアプローチ— 元永千穂、河野齊治、原田健、渡辺英綱、国枝里美、櫻井和俊 Aroma Research Vol.8 No.2 2007
- 【調査報告】** 福島大学での麻疹対策と麻疹抗体価の検討 渡辺英綱 東北学校保健学会会誌 第55号、p33-34 2007
- 【学会発表】** 非アルコール性脂肪肝炎における生活習慣要因および尿中8-OHdGとの関連性 第104回日本内科学会総会講演会 関大阪国際会議場、大阪 2007.4
 白血球数とインスリン抵抗性および各種危険因子との関連性 第50回日本糖尿病学会年次学術集会 関サンフェスタ、仙台 2007.5
 メタボリックシンドローム形成要因としての生活習慣因子 第45回全国保健管理研究集会 関別府ビーコンプラザ、別府市、大分県 2007.10
 腹囲基準とBMIより見たメタボリック症候群診断基準の問題点 第45回全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会 関秋田県 秋田ビューホテル 2007.7
 高血圧性腎障害における安静時血漿レニン活性、アルドステロン濃度の関与 第50回日本腎臓学会学術総会 関静岡県 オークラアクトシティホテル浜松 2007.5
 福島大学での麻疹対策と麻疹抗体価の検討 第55回東北学校保健学会 関岩手テクノホール、盛岡市、岩手県 2007.9